

いま買える! いま買おう! 二足歩行ロボットキット 大特集

集中レビュー(8ページから) **大特集**

10万円を切る二足歩行キット

(株)ハイテックマルチプレックスジャパン

ROBONOVA-

製作記事は8ページから



画像提供:
(株)ハイテック
マルチプレックスジャパン



もちろん、
これも二足歩行だ!

共立電子産業(株)

Weird-7

製作記事は12ページから

画像提供: 共立電子産業(株)

カウルで、
よりロボットらしく

(株)ポークス

ロボフィーVS-1

製作記事は16ページから

画像提供: (株)ポークス

まだまだ進化する
ベストセラー

近藤科学(株)

KHR-1

改造記事は18ページから

画像提供: 近藤科学(株)



二足歩行ロボットキット 大特集

2004年6月に近藤科学(株)が発売したKHR-1は、12万6000円という価格で二足歩行ロボットキットの価格破壊を断行。それまで高額なキットを前に購入に二の足を踏んでいた一般ユーザーの支持を得て、大ヒットを記録した。そのKHR-1が切り開いた市場に多くのメーカーが参入、2005年は二足歩行キット元年とも言える1年になった。この冬は史上初めて、ロボットキットを手軽に楽しめる環境が整ったシーズンだと断定したい。

低価格化の最大の要因は、ロボットキットの価格の大半を占めるサーボモーターの供給元であるサーボメーカーが、キット販売に関与するようになったことだ。日本の表現になるが、各社が「勉強した」結果だ。その減らしたマージンは、1キットで20個近い数をさばけるロボットキットならではの量的メリットでカバーしているわけだ。近藤科学(株)が先鞭をつけ、三和電子機器(株)や双葉電子産業(株)日本遠隔制御(株)などのサーボメーカ

ーも追従の動きを見せている。

価格に加えてもう1つ、ソフトウェアの存在も見逃せない。KHR-1ではパソコンを介した教示ソフトを同梱、それまでの難解な数値指定ではなく、ロボット側を動かすことでモーションをデータ化できる仕組みは非常にわかりやすく、続いたキットの多くがモーション作成ツールを工夫している。ロボット本来の楽しみである「動かして遊ぶ楽しみ」がぐっと身近になったことで、もう1つの「組み立てる楽しみ」との2本柱をアピールできるようになったことは、購入への敷居を大幅に下げる効果があったはずだ。

1992年、米国のパソコンメーカー・コンパック(現在はHPに吸収)が日本市場に国産メーカーの半額の製品を投入、その後の価格引き下げの呼び水となった「コンパックショック」と呼ばれる出来事があった。1992年に約170万台だった出荷台数は、1995年に500万台を突破(もちろんWindows95

というOSの存在もあったわけだが)ハードとソフトの両輪で成立する二足歩行キットが同じ道をたどる可能性はおおいにあると筆者は感じている。すなわち時間が経てば価格はさらに下がり、ソフトの性能も上がっていくことは間違いなさだろう。

とはいえ、まだまだ黎明期のいま、買い時はいつと言える段階でもない。早くにパソコンに手を染めた人、早くにインターネットを始めた人、いずれもその早いスタートが無駄になっていないことを考えれば、本誌としてはロボットもそう、いま買えるものをいま楽しむべきだと指南しておこう。

今特集では、この冬に入手できる二足歩行ロボットキットを網羅、レビュー可能なものはできる限り紹介し、レビューできないものは発売日未定のものも含め、カタログとして取り上げている。ロボットキットを楽しむ年末年始もオツなものだと思うが、いかがだろうか。

(浅野純也(ライター))

まだまだあります ロボットキット(20ページから)



Pirkus-R Type-01

画像提供: アイ・ビー(株)



Robovie-MS

画像提供: ヴィストン(株)



RB1000

画像提供: 日本遠隔制御(株)



HSWR-K02

画像提供: (有) 姫路ソフトウェア



Speecys



マノイ

画像提供: 京商(株)



AT-WALKER

画像提供: (有) 浅草草研

ロボットキットはココで買おう!(23ページ)

オススメショップサイト一覧

ロボットキットを販売しているオススメショップを紹介!

初めてのロボットキットココを見て選ぼう!(23ページ)

で、結局どれにすればいいの? そんな人のために、ロボットキットを選ぶ際のポイントを解説!